

# 公益財団法人水島地域環境再生財団 令和4(2022)年度 事業報告

## 総括

本年度は「みずしま資料交流館（愛称：あさがおギャラリー）」を2022年10月にオープンし、関連したイベントの開催や情報発信により、地域の方々や研究者との交流施設としての役割を担った。同時に発刊した『「地域の価値」をつくる』（東信堂）は、大きな反響を呼び、みずしま財団のこれまでの取り組みが、新たな視点で注目されてきている。コロナ禍ではあったが移動制限の緩和などに伴い、研修・教育旅行等が徐々にコロナ前に戻りつつあることを実感する年となった。

「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」や「水島まちづくり協議会」との連携を深め、脱炭素のまちづくりなど、持続可能な水島の実現を目指した取り組みを進めた。

財政的には講師活動が強化されたが、赤字の体質を改善するには至らなかった。上記、資料館活動と関連してわかりやすく活動を伝え、広報活動ならびに財政面の強化を次年度につなぐ。

## 公益目的事業1

### (1) 公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究および活動

「海ごみ」に関する分野ではこれまでの蓄積を生かして、岡山県や民間活動団体等の委託をうけ、調査活動や海ごみ削減に向けた実証事業、普及啓発事業を実施した。発生源対策に向けても知見を積み重ねた。地球環境基金の助成活動は2年目として公害資料館活動を展開した。「地域カフェ」の成果として作成した「水島メモリーズ」が好評で、事務所訪問者が増えた。

#### ①岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度評価分析と活用事業

事業内容	日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行い、報告書を作成した。(2010年度から実施継続) 今年度は、「地域からの気候危機対策」をテーマにシンポジウムを開催し、52名の参加があった。 ・4/23 地球温暖化防止シンポジウム「地域からの気候危機対策を考える」 講師：上園昌武氏（北海学園大学経済学部 教授） 近江貴治氏（久留米大学商学部 准教授）
------	---

#### ②海ごみの発生源対策としての、内陸河川での回収処理体制確立に向けた基礎調査

事業内容	<b>調査・実践活動</b> <b>①漂着ごみ回収・調査事業</b> 岡山県の事業を受託し、鹿久居島（備前市）、牛窓（瀬戸内市）、下津井（倉敷市）の3海岸で漂着ごみの実態把握調査を実施した。また今年度は目視調査で24地区（28地点）を調査した。調査結果を報告書にまとめた。 ・9/2 牛窓海岸調査 ・10/31 鹿久居島海岸調査 ・2023/1/26 下津井海岸調査 ・目視調査（9/29、2023/1/16、2/16、3/2、3/14）  <b>②令和4年度 河川ごみ等回収・発生抑制モデル事業（倉敷市分）</b> 岡山県の事業を受託し、倉敷市内4地区（5地点）において、地域住民や高校生などと連携した継続的な水路ごみの回収の取り組みの実証実験を行った。取り組みの成果を「瀬戸内海 海ごみ・
------	---

「プラごみ削減フォーラム in おかやま」で報告するとともに、今後の展望を含めた報告書を作成した。

#### ③陸域プラごみ回収事業（笹ヶ瀬川・百間川）

「釣り人みんなで、ごみ拾い（清掃ボランティア団体）」の委託を受け、同団体が実施した「陸域プラごみ回収事業」の中で回収されたごみの性状分析調査を実施した。調査結果を取りまとめた報告書を作成した。

- ・ 11/12 笹ヶ瀬川清掃活動・調査
- ・ 2023/1/21 百間川清掃活動・調査

#### ④漁業者との座談会運営

日本財団と瀬戸内 4 県が進める「瀬戸内オーシャンズ X」の委託を受けて、「漁業に携わる市民が考える海と食卓と流通の関係再考座談会」の運営を担当した。座談会は 3 回開催し、各回のまとめを作成した。

- ・ 6/28 第 1 回座談会（多度津）
- ・ 2023/1/19 第 2 回座談会（観音寺）
- ・ 2023/3/18 第 3 回座談会（寄島：漁業体験と連携して実施）

#### ⑤高校生と連携したマイクロプラスチック調査

「笹川科学研究助成」を塩飽研究員が受け、岡山県立倉敷古城池高等学校と連携して、通生海岸及び浅口市寄島沖の海底土壌中マイクロプラスチックの空間的・時代的分布に関する調査研究を行った。高校生と連携した調査活動や、フォーラム等での地域への本問題の発信などが評価され、「笹川科学研究奨励賞」を受賞した。

- ・ 5/28、9/24 通生海岸調査
- ・ 7/17 浅口市寄島沖ボーリング調査
- ・ 9/23 日本地理学会秋季学術大会（香川大学）で発表

#### ⑥ドローンを活用した海ごみ搬出の実証実験

海ごみの搬出が困難な海岸・河川敷からの搬出の選択肢を増やすことを目的に、ドローンを活用した実証実験を行った。環境省「ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業」の助成を受け、岡山県、一般社団法人 MASC と連携して実施した。成果を基に動画を作成し、地元金融機関等で啓発に活用した。

- ・ 11/30 ドローンによる海ごみ搬出実証実験（下津井）
- ・ 12/14 ドローンによる河川ごみ搬出実証実験（そうじゃ水辺の楽校）

#### 啓発活動

##### ①全県民の海ごみ・プラごみ削減フォーラム開催事業

岡山県の事業を受託し、「瀬戸内海 海ごみ・プラごみ削減フォーラム in おかやま」の企画・運営を担当した。会場とオンラインのハイブリッド形式で開催し、参加者約 120 名であった。フォーラムの概要をまとめた報告書を作成した。

- ・ 2023/2/26 「瀬戸内海 海ごみ・プラごみ削減フォーラム in おかやま」

③資料保存・整理・活用・資料館づくり

事業内容	1. 「みずしま地域カフェ」の開催		
		開催日および会場	概要
	第4回	2022年5月28日、みんなのお家「ハルハウス」	水島で子ども食堂を運営する井上正貴さんや支援者の方々から、活動拠点である「ハルハウス」で話を聞いた。また、一緒に昼食をとりながら交流も行った。
	第5回	2022年7月19日、MPM Lab. (社長インタビューと現地見学は8月10日)	水島地区でもっとも歴史の長い企業の1つである水島ガスのOBと現役社員から話を聞いた。また後日、本社において社長インタビューを実施するとともに、球形ガスホルダー（ガスタンク）や太陽光パネルなどの見学も行った。
	第6回	2022年8月10日、ライパーク倉敷	1884（明治17）年の大水害に関する講演会を行ったあと、犠牲者が埋葬されている「千人塚」にも足を運んだ（倉敷市福田公民館人権教育講演会と合同開催）。
	第7回	2022年10月11日、萩原工業本社	水島に立地し、ブルーシート国内シェア1位の化学繊維製品メーカーである萩原工業の会長から、同社の歴史や今後の展望について話を聞くとともに、工場の見学を行った。
	第8回	2022年11月22日、水島勤労者福祉センター	アジア・太平洋戦争中に、軍用機を製造する三菱重工業水島航空機製作所の疎開工場としてつくられた亀島山地下工場の遺構を見学。その保存・活用を考えるワークショップを行った。
	各回、15名程度で集まり、ヒアリングと現地見学を実施。成果を『水島メモリーズ』にまとめた。		
2. 『水島メモリーズ』の発行 各5000部			
	サブタイトル（刊行年月）	テーマ	扱った「困難な過去」
	水島子ども食堂ミソラ♪編（2022年7月）	子ども食堂とその支援者たちの物語	大気汚染公害とあおぞら学園（小児喘息特別入院施設）
	水島ガス編（2022年10月）	三菱重工業とともに名古屋から進出してきた水島ガスのあゆみ、脱炭素の課題とまちづくり	アジア・太平洋戦争中の軍用機製造との関連、会社幹部の原爆死、戦後の大気汚染公害
	萩原工業編（2023年3月）	岡山県南部のイグサ生産・加工の歴史、その中で地元企業が花ござからブルーシートへ事業展開したあゆみ	水島の重化学工業化と大気汚染によるイグサ生産、花ござ産業の衰退
みずしま地域カフェで収集した情報をもとに執筆。倉敷市の社会教育施設・観光施設・金融機関などで配布。「倉敷とことこ」 <a href="https://kuratoco.com/mizushima_memories/">https://kuratoco.com/mizushima_memories/</a> 「倉敷とことこ」パンフレットにも掲載			
3. ミニ公害資料館の整備「みんなの資料館」学び・交流する場として オープン			
10月15日のミニ公害資料館（みずしま資料交流館）オープンさせるために下記のイベントや整備を行い、公害資料館をオープンさせた。来館者は445名			
8月30・31日 あさがお会館荷物搬出（参加者 のべ8名）			
水島航空写真展示・三菱重工業の戦時中の水島の写真展示パネルの作成			
9月24・25日 本棚づくりワークショップ（参加者 のべ19名）			
10月15日 オープニングイベント（参加者 30名）			
10月23日 内田樹先生記念講演会（参加者 80名）			
毎日新聞岡山版9月9日「水島の記憶紡ぐ場所に/倉敷の財団 公害資料館開設へ」			
2月11日『「地域の価値」出版記念シンポジウム』参加者15名 ライブ動画閲覧50名 <a href="https://youtu.be/GtxUgpi0Icg">https://youtu.be/GtxUgpi0Icg</a>			
4. 勉強会・シンポジウム開催			
・温暖化勉強会			
4月24日「地球温暖化問題と水島 水島でできることを考えよう」を開催（参加者12名）			
水島の未来の環境課題のことを学ぶための勉強会を開催した。			
・倉敷・水島の公害と福島原発事故 2つの公害をむすぶ			
4月27日 岡山県立記録資料館に企画展を倉敷市公害患者会と福島原発避難者がともに見学（参加者9名）			

7月9日 みずしま遠足（原発避難者を水島に招いて研修会を開催 参加者16名）  
7月30日 シンポジウム「二つの公害をむすぶ」（水島愛あいサロン）175名参加  
福島原発事故の避難者を水島にお招きして、福島原発事故と水島公害の共通点を考える研修会とシンポジウムを開催した。ここで、公害資料館をオープンさせることを世間に公開した。  
福島原発避難者岡山訴訟 結審（9月20日）判決（3月14日）にも参加し、水島公害との交流を行った。  
また、2月24日 避難者支援団体のインタビュー記事をホームページに掲載した。

## 5. 視察

5月15・16日 瀬戸内芸術祭 大島・豊島（産廃処分場）10月16日 直島  
7月17・18日 新居浜（別子銅山煙害）  
8月20-22日 広島戦跡ネットシンポジウム、呉地下工場見学  
12月16-18日 名古屋（三菱重工業名古屋航空機製作所）三島コンビナート建設中止現場  
水島メモリーズの取材、企画展示のための情報収集、同じような困難な過去を扱う資料館を訪問し、交流を深めた。

## 6. 発表など

### <書籍>

- ・除本理史・林美帆編著『「地域の価値」をつくる』東信堂、2022年10月
- ・内田樹『多視点性と成熟』東信堂、2023年2月
- ・清水万由子・林美帆・除本理史編著『公害の経験を未来につなぐー教育・フォーラム・アーカイブズを通じた公害資料館の挑戦』ナカニシヤ、2023年2月

### <論文>

- ・『「地域の価値」の構築をめざす協働の取り組み：岡山県倉敷市水島地区の事例から』（除本理史・林美帆）『経営研究』73(1)
- ・除本理史, 林美帆「公害経験の継承と「環境再生のまちづくり」：多視点性が開く協働の取り組み」『経営研究』73(3)（通号363）2022-11 p.15-24
- ・林美帆「多視点性による公害経験の継承：倉敷・水島の公害資料館づくり（特集 四日市公害裁判から50年 公害から今何を学ぶか）」『住民と自治』2022-12 p.13-15
- ・除本理史「公害経験の継承を通じた協働のまちづくり——維持可能な内発的発展に向けて」『住民と自治』第716号、8-12頁、2022年12月。
- ・林美帆「多視点性による公害経験の継承と協働のまちづくり—倉敷・水島での取り組み—」『人間と環境』48(1) 2023-1 p.31-37
- ・除本理史「公害地域の内発的発展と『地域の価値』」『人間と環境』48(1) 2023-1 p.20-27
- ・尾崎寛直「環境保健活動の新たな展開に見る地域連携の可能性-倉敷公害裁判後の地域づくりの試み-」『人間と環境』48(1) 2023-1 p.35-41
- ・関耕平「本の紹介 『地域の価値』をつくる-倉敷・水島の公害から環境再生へ-」『人間と環境』48(1) 2023-1 p.60-62

- ・『DEARNews』209号（2022年10月）「実践事例報告 コンビナート公害と脱炭素」（林）

### <発表・講師など>←講師派遣では？

- ・7月1日～2日 学術野営（林）
- ・7月3日 日本環境学会第48回研究発表会「みずしま滞在型環境学習コンソーシアムから公害資料館づくりへ——水島地域環境再生財団の取り組みから中間支援を考える——」（塩飽・林・除本先生）
- ・10月1日除本理史・ConradHirano・林美帆「大気汚染訴訟後における協働のまちづくり——岡山県倉敷市水島地区を事例として」環境経済・政策学会2022年大会企画セッション「日本における公害問題と地域再生——その現代的意義を探る」オンライン開催。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月2日除本理史・服部育代・林美帆「原発避難者の『語りづらさ』とエンパワーメント——岡山県における『2つの公害をむすぶ』取り組みについて」日本災害復興学会 2022 年度京都大会、京都大学防災研究所。</li> <li>・12月10日法政大学大原社会問題研究所第2期第6回環境・労働問題研究会「公害経験の継承と協働のまちづくり：水島と福島を中心に」講師（除本先生、林）法政大学市谷キャンパス</li> <li>・12月11日環境社会学会第66回大会実践報告「公害資料館における多視点性と協働」（林、除本先生）法政大学市谷キャンパス</li> <li>・2023年1月21日公害資料館ネットワーク&lt;フォーラムプレ企画&gt;トークセッション「福島の経験を継承する」コメンテーター（林）</li> <li>・日本科学者会議岡山支部 Zoom よもやま話の会2月例会（2023年2月27日）「倉敷市水島の公害資料館開設とアーカイブズ——みずしま資料交流館ができるまで」講師（林）</li> <li>・8月6日 開発教育協会 d-lab 自主ラウンドテーブル「コンビナートと公害と脱炭素」（林）</li> <li>・8月27日 日本環境教育学会大会口頭発表「学びの場としての「みずしま地域カフェ」と公害資料館」（林・除本先生）</li> <li>・1月28日西大寺公民館「語り合おう『MINAMATA』が伝えること」講師（林・除本先生）</li> <li>・水俣病センター相思社 2023年2月18日（土）、19日（日）「水俣の教え方、伝え方 水俣実践交流会」講師（林）</li> </ul> <p>7. ホームページに資料館の情報を追加記載、研修のページを修正 (<a href="https://mizushima-f.or.jp/gallery/">https://mizushima-f.or.jp/gallery/</a>)</p> <p>8. 運営協議会 2回開催（9月21日・3月7日）</p> <p>9. SDGs 教材『水島の公害と未来』 備中県民局管轄の小中高校に3冊ずつ配布した。水島に研修旅行に来た人たちに配布（600部程度）、みずしまをテーマにした講義にて配布（1000部程度） 写真を使ったワークショップを実施（大阪公立大学、滋賀県立大学、佛教大学、倉敷芸科大学、操南中学校など）、アンケートを実施（回答228名） 山陽新聞紹介記事掲載（2022年7月17日）</p> <p>10. 展示 2か所 岡山県立記録資料館「昭和の公害対策」企画展(3月～5月) 共催 水島愛あいサロン「昭和の公害対策」巡回展（倉敷市環境学習センター エコギャラリー）開催 2022年7月19日（火）～8月17日（水） 水島メモリーズの展示を作成（B2判 5枚）</p> <p>11. 常設展示を3種作成（地図1枚、戦前の水島写真2枚）</p>
--	--

#### ④水島地域のまちづくりと関連させた八間川調査

<b>事業内容</b>	<p>① 八間川調査隊</p> <p>倉敷市環境学習センター登録団体連携講座事業として八間川調査を実施した。大学生のボランティアが4人参加し、当日の運営を担うとともに、ZOOMでのボランティア交流会を実施し、出された意見を次の調査活動に活かした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/18 第71回八間川調査隊 22名参加</li> <li>・7/15 八間川調査隊ボランティアスタッフ交流会</li> <li>・8/27 第72回八間川調査隊 30名参加</li> <li>・2023/2/4 倉敷市環境学習センター登録団体交流会に参加・活動報告</li> </ul>
-------------	---

	<p>② 水島コンビナート環境学習ツアー</p> <p>環境学習という切り口で、私たちの暮らしとコンビナートとのつながりを考える倉敷市内の親子向けツアーを倉敷市環境学習センター登録団体連携講座事業として実施した。JFE スチール西日本製鉄所の工場見学と、岡山県環境保全事業団水島処分場を見学し、生産と廃棄の現場で学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/23 水島コンビナート環境学習ツアー 24名参加</li> </ul> <p>調査研究活動等で得られた知見、各種行政の審議会・委員会等の場で意見や提言をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営委員会</li> <li>・ 岡山県河川整備検討委員会</li> <li>・ 岡山県環境学習協働推進広場（おかやまかんきょうひろば）運営委員会</li> <li>・ おかやま環境教育ミーティング実行委員</li> <li>・ 岡山県環境審議会</li> <li>・ 倉敷市生物多様性審議会</li> <li>・ 岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会</li> </ul>
--	---

## (2) 公害経験や公害地域の再生・地域づくりに関わる情報交流事業

国・地方自治体が、ともに取り組みを重視する ESD、SDGs の普及啓発事業を当財団の実施課題として検討を進め、地域の各団体と連携して取り組みを進めた。2020 年度に作成した「2030 年の水島、こうなったらいいな」の自己評価として、方法書に基づき指標チェックをボランティア大学生と一緒に試みた。

各種活動の成果を広めるため、広報誌「たより」を継続発行するとともに、HP、SNS 等での発信を行った。

### ①成果発表

<b>事業内容</b>	<p>「2030 年の水島、こうなったらいいな」の自己評価</p> <p>「NPO 法人地域づくり工房」と連携して、2020 年度に作成した「2030 年の水島、こうなったらいいな」を持続可能性アセスメントの手法で進捗確認、自己評価をボランティア大学生と一緒に取り組み、報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023/3/5 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム活動交流会で発表</li> </ul>
-------------	--

### ②公害地域再生・地域づくりに関わる市民活動団体等への運営支援・連携

<b>事業内容</b>	<p>水島を中心に岡山、倉敷地域で活動する市民団体・グループの活動を支援し、環境保全・地域づくりの活動のレベルアップを目指した取り組みを進めた。昨年度に引き続き、水島商店街の空きスペースを活用して地域のにぎわいづくりを目指す活動（ミズシマ・パークマネジメント・ラボ）と大学生の学びの活動をつなげてイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水島まちづくり協議会</li> <li>・ STOP 温暖化くらしき実行委員会</li> <li>・ 倉敷・総社温暖化対策協議会</li> <li>・ おかやま環境教育ミーティング実行委員会</li> <li>・ (一社) 高梁川流域学校</li> <li>・ 水島おかみさん会（水島お雛めぐり）</li> <li>・ ミズシマ・パークマネジメント・ラボ</li> <li>・ 日本科学者会議岡山支部</li> <li>・ 公害資料館ネットワーク</li> </ul> <p>展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/5（金）おかやま環境教育ミーティングに参加・出展（岡山コンベンションセンター）</li> </ul>
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/24（土）くらしき環境フェスティバルに参加・出展（水島愛あいサロン）</li> <li>・10/2（日）リサイクルフェア in くらしきに参加・出展（児島クルクルセンター）</li> </ul>
--	---

### ③ESD、SDGs の実現に向けた普及・啓発事業

<b>事業内容</b>	<p>SDGs をキーワードに、持続可能な地域を目指した取り組みを進めることができた。</p> <p>環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会</p> <p>事務局として、（公財）福武文化振興財団助成を受けて、倉敷古城池高校の生徒をはじめ、一般参加の高校生、大学生・大学院生と「ユースが考える水島の未来 持続可能な地域づくりに向けて、再生可能エネルギーについて考えよう in 水島」を7/29に開催した。（主催：福田中学校区人権学習推進委員会、環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会）</p> <p>地域貢献として中学生の職場体験を支援した。資料館づくりを題材に学びの要素を取り込んだ。</p> <p>・8/30（火）・31（水）倉敷市立南中学校 チャレンジワーク</p>
-------------	---

### ④たより、年次報告書の定期発行、内容の充実

<b>事業内容</b>	<p>たよりを継続して発行。たよりの発送に合わせて、賛助会費の納入を呼び掛けた。</p> <p>たより 107、108、109、110 号を発行した。</p>
-------------	---

### ⑤HP、SNS、マスメディア等による情報発信の充実

<b>事業内容</b>	<p>みずしま財団の活動を周知するため、FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」（毎週金曜日）、ブログ、facebook 等による情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜 15:45～16:00</li> </ul> <p>月1回を岡田評議員が担当に加え、今年度から中平評議員が月1回、みずしま滞在型環境学習コンソーシアム副会長古川氏と倉敷古城池高校生が月1回担当し、活動を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルメディア（ブログ、facebook、Twitter）を活用し、効果的な情報発信を目指した。</li> </ul>
-------------	--

### (3)「滞在型環境学習プログラム」の実施と保健活動等支援事業

2018年に立ち上げた「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」の活動では、モデルツアーの実施や研修受け入れは9団体を受け入れた。

環境保健分野は倉敷市の委託事業として呼吸リハビリ講習会を10回開催し、本問題の地域への啓発、早期発見・治療に向けた取り組みを進めた。

### ①滞在型環境学習プログラムの実現に向けたモデルツアーの実施

<b>事業内容</b>	<p>みずしま滞在型環境学習コンソーシアムの事務局として、体制づくり検討会を運営委員会に改め、運営体制、具体的なプログラム等について話し合った。観光庁事業を受託して、水島地域内を案内する看板の設置や、「水島ガッツリマップ」、コンソーシアムのプログラムを紹介したリーフレットの作成など、学びの地域としての基盤整備を進めた。同時に、モデルツアーを4件構築・実施し、プログラムの検証を行った。県外中学、高校、社会人等の研修受け入れを9件実施した。</p> <p>&lt;会議・シンポジウム&gt;</p> <p>6/27、11/9、2023/2/22、3/8 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム運営委員会</p> <p>2023/3/5 みずしま滞在型環境学習コンソーシアムシンポジウム開催</p> <p>&lt;研修受入&gt;</p>
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/26 (火) 立命館守山高校</li> <li>・ 8/7 (日) JICA 研修受入</li> <li>・ 10/21 (金) 立命館慶祥高校 (6名)</li> <li>・ 10/24 (月) 凱風館 (内田樹先生) 修学旅行</li> <li>・ 10/27 (木) 香川県立三木中学校 (215名)</li> <li>・ 11/21 (月) 私立出雲西高校受入</li> <li>・ 11/24 (木) 尾道市常任統計調査員研究協議会受入</li> <li>・ 12/9 (金) 長崎県立松浦高校受入</li> <li>・ 12/10 (土) SDGs 未来都市 真庭市・岡山市・倉敷市・西粟倉村を巡る SDGs 体感モニターツアー (主催: 一般社団法人真庭観光局)</li> <li>・</li> </ul> <p>&lt; 講座・交流会等 &gt;</p> <p>地域サロンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/11-12 地域サロン (1) 縄文土器編 講師: 兵頭百華氏</li> <li>・ 2023/2/18 地域サロン (2) 倉敷・早島の干拓編 講師: 眞鍋忠義氏</li> <li>・ 2023/3/28 地域サロン (3) コーヒー編 講師: コーヒーローストおかべ</li> </ul> <p>岡山県立倉敷古城池高等学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/25、2023/2/8 水島プラットフォームに参加</li> <li>・ 12/23 水島バスツアー (水島コンビナート、藤戸合戦) の実施に協力</li> <li>・ 2023/3/22 KT (古城池タイム) 活動発表会に参加</li> </ul>
--	--

②小・中・高・大学、生涯学習等 講師派遣

<b>事業内容</b>	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団の職員を講師として派遣し、環境学習の提供、市民や学生など多様な世代が学ぶ機会を提供した (68件、その他大学の非常勤講師3件)。環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会として、水島地域内の小学校への出前教室プログラムを学校へ呼びかけた。</p> <p>塩飽敏史研究員が、非常勤講師として授業を行った。 倉敷芸術科学大 環境リスクマネジメント (前期)</p> <p>林美帆研究員が、非常勤講師として授業を行った。 大阪産業大学 (前期) 佛教大学 (通信学部・前期/歴史学部・後期)</p> <p>4/6 (水) 川崎医科大学見学実習 (ZOOM での講義) (福田、塩飽) 5/18 (水) 倉敷市立水島小学校授業 (八間川) (田賀、塩飽) 5/20 (金) 岡山市立操南中学校 (ZOOM) 授業 (藤原) 5/25 (水) 倉敷市立水島小学校授業 (八間川) (塩飽) 5/26 (木) 大阪公立大学授業 (林) 5/28 (土) 岡山市立御南西公民館講座 (海ごみ) (塩飽) 5/28 (土) 児島通生海岸調査 (海ごみ) (塩飽) 6/1 (水) 倉敷市立第五福田小学校 (水島の環境と SDGs) (塩飽) 6/3 (金) 龍谷大学授業 (水島の歴史と SDGs) (塩飽)</p>
-------------	---



6/3 (金) 自由学校 (特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター) 講演 (公害資料館) (林)  
 6/8 (水) 倉敷市立第五福田小学校 (水島の環境と SDGs) (塩飽)  
 6/9 (木) 倉敷市立第四福田小学校 (ごみ問題) (中平評議員、塩飽)  
 6/10 (金) 岡山県立倉敷古城池高等学校 (水島の環境と SDGs) (中平、塩飽)  
 6/16 (木) 岡山市立津島小学校授業 (海ごみ) (塩飽)  
 6/16 (木) 大阪公立大学 授業 (林)  
 6/29 (水) 倉敷市立第四福田小学校 (地域について) (塩飽)  
 7/5 (火) 倉敷市立第一福田小学校 (地域の環境について) (塩飽)  
 7/8 (金) 倉敷市立水島小学校授業 (水島の環境と SDGs) (中平評議員、山本理事、塩飽)  
 7/20 (水) 中国運輸局岡山運輸支局水島海事事務所海事表彰での講演 (海ごみ、SDGs) (塩飽)  
 7/22 (金) 倉敷市立大高小学校 学童保育 (フードマイレージ) (藤原)  
 7/25 (月) 県立倉敷南高校 (ラーニングカフェ) (林)  
 7/25 (月) 県立玉島高校スーパーサイエンス講義 (福田理事)、通生海岸海ごみ調査指導 (塩飽)  
 7/28 (木) クルクルセンター (児島) 講座 (海ごみ) (林)  
 8/1 (月) おかやまコープ備北エリア主催の学習会 (海ごみ) (塩飽)  
 8/1 (月) 倉敷医療生協水島支部学習会 (フードマイレージ) (藤原)  
 8/10 (水) 倉敷市福田公民館 講座 (千人塚) (林)  
 8/18 (木) 福岡女学院 授業 フォトランゲージ (林)  
 8/22 (月) 高梁市立松原小学校 (フードマイレージ) (藤原)  
 8/29 (月) 岡山市立妹尾公民館 講座 (海ごみ) (中平評議員)  
 9/4 (日) 新日本婦人の会玉野 (海ごみ) (塩飽)  
 9/5 (月) 岡山市立福田公民館 (フードマイレージ) (塩飽)  
 9/24 (土) 児島通生海岸調査 (海ごみ) (塩飽)  
 9/26 (月) 岡山市立灘崎公民館 講座 (プラスチックごみ問題) (塩飽)  
 9/28, 30 (水、金) 倉敷市立第四福田小学校 (水辺環境について) (塩飽)  
 10/6 大阪公立大学 除本ゼミ (林)  
 10/11 (火) 倉敷市エコライフチャレンジ出前講座連島北小学校 (フードマイレージ) (藤原)  
 10/16 (日) 赤磐市環境基本条例をつくる会 (環境問題について) (塩飽)  
 10/18 (火) 岡山市立岡南公民館長寿教室 (海ごみ (マイクロプラスチック)) (塩飽)  
 10/18 (火) 倉敷市立中庄小学校 5年生 (フードマイレージ) (藤原)  
 10/22 (土) 倉敷市立第一福田小学校 教育講演会 (水島について) (塩飽)  
 10/25 (火) 地球環境基金助成金説明会事例報告 (藤原)  
 11/9 (水) 岡山県立倉敷古城池高等学校 (バスツアーに向けたレクチャー) (塩飽)  
 11/10 (木) 岡山市立岡輝公民館 講座 (フードマイレージ) (藤原)  
 11/13 (日) 岡山県母親大会 in 倉敷市 (塩飽)  
 11/24 (月) 岡山市可知小学校 (フードマイレージ) (藤原)  
 11/28 (月) 灘崎公民館 講座 (フードマイレージ) (藤原)  
 12/1 (木) 倉敷市第五福田小学校 (八間川) (福田)  
 12/3 (土) 倉敷医療生協・水島支部学習会 (八間川) (塩飽)  
 12/5 (月) SDGs ネットワークおかやま出前授業岡山市立操山中学校 (6クラス、キャリア講座) (福田、塩飽、藤原)  
 12/8 (木) 滋賀県立大学講師フォトランゲージ (林)  
 12/15 (木) 大阪公立大学講師 (林)  
 12/16 (金) 岡山県立倉敷古城池高等学校 (バスツアーに向けたレクチャー) (塩飽)

1/12 (木) 早島学「まなびの舎」講座 (海ごみ) (塩飽)
1/16 (月) 早稲田大学 授業 (オンライン) (林)
1/18 (水) 倉敷医療生協 環境問題を考える会 (福田)
1/28 (土) 西大寺公民館 『MINAMATA』が伝えること Part.2 (林)
1/29 (日) 岡山市立京山公民館「カムカムトーク」(海ごみ) (塩飽)
2/12 (日) 吉備の環 海ごみストップ講座 (御南西公民館、山陽新聞社) (海ごみ) (塩飽)
2/18 (土) 水俣病センター相思社 「水俣の教え方・伝え方」(林)
2/27 (月) 日本科学者会議 よもやま話レクチャー (公害資料館づくり) (林)
3/8 (水) 水島ロータリークラブで講演 (林)
3/11 (土) 亀島山地下工場を語りつぐ会 講師 (林)
3/12 (日) かさおか貢献隊 (北木島、海ごみ) (塩飽)
3/15 (水) 倉敷医療生協 倉敷ブロック交流会 (水島の公害) (福田)
3/18 (土) くらそう適応グループ例会 (水島の公害と環境再生の取組) (塩飽)
3/19 (日) 東海社会学会 公害経験からのまちづくり (福田)
3/25 (土) 岡山市立福田公民館 講座 (海ごみ)
3/27 (土) 岡山市立灘崎公民館 (海ごみ) (塩飽)

### ③大学・企業向け視察研修

<b>事業内容</b>	漁業体験の実施 (4/29 : 12 名、5/29 : 10 名、7/17 : 4 名 (ポーリング調査)、10/23 : 6 名、11/19 : 10 名、3/18 : 11 名) 亀島山地下工場の個人見学対応の補助 (7/14 : 3 名、8/17 : 2 名) 4/6 川崎医科大学見学実習 (ZOOM) 5/2 (月) ソワニエ看護専門学校新入生水島フィールドワーク 8/4 (木) 区立銀座中学校 (教員) 10/5 (水) 倉敷医療生協 3 年目研修 (呼松フィールドワーク) 10/14 (金) 倉敷医療生協 新入職員研修 (亀島山地下工場) 1/27 (金) 灘高校 (教員) 2/10 (金) 法政大学 環境アーカイブズ 2/12 (日) 福島大学 経済学類 藤原遥先生 3/20 (月) 関東学院大学 (教員)
-------------	---

### ④人々が健康的に暮らせる地域づくり事業

・ COPD (慢性閉塞性肺疾患) の早期発見・治療を目指す地域連携のしくみづくり

<b>事業内容</b>	COPD の早期発見・治療を目指す地域連携の取り組みとして、呼吸リハビリ講座「息切れとうまく付き合うコツ、教えます」(倉敷市委託事業) を水島地域内 10 カ所で開催し、のべ 110 名が参加した。くらしき COPD ネットワークと連携し、理学療法士 5 名、作業療法士 1 名が講師となって実施した。環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修を修了した方の新たな協力が 2 名あり、講師層が広がった。新型コロナウイルス対策に十分に考慮して行った。				
	会場	実施日	時間	講師	人数
	広江憩いの家	2022/10/13(木)	11 : 00~12 : 30	片山章子氏	12
	いきいきふれあいフェスティバル 福田公園	2022/10/16 (日)	9 : 00~15 : 00	藤原耕三氏	24 ※1
	連島公民館	2022/10/22 (土)	13 : 30~15 : 00	萩山明和氏	10

水島愛あいサロン会議室	2022/10/30（日）	13：30～15：00	佐藤雅昭氏	6
水島愛あいサロン会議室	2022/11/3（木）	13：30～15：00	藤原耕三氏	6
呼松保健の家	2022/11/4（金）	10：30～12：00	片山章子氏	5
松江公民館	2022/11/8（火）	10：30～11：30	片山章子氏	8
東川町公民館	2022/11/12（土）	10：00～11：30	萩山明和氏	20
塩生保健の家	2022/11/13（日）	10：00～11：30	大形篤氏	11
水島愛あいサロン会議室	2022/11/23（水）	13：30～15：00	継田晃平氏	8
10 会場				110

#### 講師所属・肩書

- ・ 片山章子氏：理学療法士 倉敷医療生活協同組合健康事業部、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 萩山明和氏：理学療法士 岡山大学病院 総合リハビリテーション部主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生
- ・ 佐藤雅昭氏：理学療法士 倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院リハビリテーション科長、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 藤原耕三氏：理学療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 継田晃平氏：理学療法士 倉敷中央病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生
- ・ 大形 篤氏：作業療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生

#### 公害健康被害補償法被認定者の療養生活に係る実態調査業務

環境省の表記業務を（公財）公害地域再生センターが受託し、倉敷実施部分について委託を受け、被認定者 10 名のヒアリングを行った。ヒアリング実施対象者の選定、実施、記録作成を担当した。

#### 公害健康被害予防事業における地方公共団体実施事業の NPO 等との協働連携に向けたマニュアル等作成業務

事業実施に係る協働連携のポイントやネットワーク形成のポイントを整理するために、くらしき COPD ネットワーク委員を対象としたヒアリング調査を行った。記録を作成し、報告書を提出した。

#### 組織運営

監査：5月13日に前年度監査を行った。

理事会・評議員会：理事会を6回、評議員会を2回行った。

6/11 第55回理事会

6/26 第24回評議員会、第56回理事会

9/11 第57回理事会

11/27 第58回理事会

2023/2/12 第59回理事会

3/4 第60回理事会

3/21 第25回評議員会

#### 受取会費・寄附

受取会費は 1,155,000 円であった。

受取寄附は 1,508,526 円であった。

## 執筆依頼

- ・ 中国新聞 今を読む 倉敷公害の教訓 再生の糧に (2022年12月10日)
- ・ 12/15 (木) 発刊『写真アルバム 倉敷・総社・早島の昭和』に原稿掲載 (樹林舎)
- ・ 『住民と自治 2022年12月号』特集「多視点性による公害経験の継承—倉敷・水島の公害資料館づくり—」
- ・ 『搏動』147~149号「海ごみから持続可能な社会を考える」(4回連載の②~④回)
- ・ 『循環とくらし』11号 「瀬戸内海の海ごみを知っていますか？」

## 外部委員

- ・ 中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 運営委員 (2017年~)
- ・ 岡山県河川整備検討委員会委員 (2013年~)
- ・ 岡山県環境審議会廃棄物部会委員 (2012年~)
- ・ 岡山県環境マネジメントシステム外部評価会委員
- ・ 倉敷市生物多様性審議会審議員 (2018年~)
- ・ STOP 温暖化くらしき実行委員会委員
- ・ 公益財団法人 公害地域再生センター (あおぞら財団) 評議員 (2019年~)
- ・ 公害資料館ネットワーク幹事
- ・ 倉敷市古城池高校水島プラットホーム委員
- ・ 日本アーカイブズ学会委員
- ・ (一社) 高梁川流域学校監事